

非核・平和のひろば 討論集会へのご案内

「被爆 80 年・敗戦 80 年 ストップ軍事力強化、核廃絶へ」

講演 伊達 純さん 「家族の被爆体験から核廃絶へ」
(被爆二世 原発はごめんだ！ヒロシマ市民の会)

12月21日(日) 午後1時開場 1時30分開演 4時30分終了
阿倍野市民学習センター第1研修室(あべのベルタ3階 06-6634-7951)

今年被爆80年を迎えました。米国による広島、長崎への原爆投下によって21万人がその年のうちに亡くなりました。生き残った人々は悲惨な苦しみを強いられました。日本の侵略戦争が招いたものですが、原爆投下は人道に反するものです。今なお長崎の被爆体験者は被爆者と認定されず、認定されていない黒い雨被爆者も残されています。被爆二・三世の被害補償も認められていません。日本政府は未だに戦争責任を認めず、被爆者援護法は国家補償法となっていない。そのため、現在も多くの闘いが行われています。

今回の討論集会では広島に被爆二世の伊達さんに、日本の侵略戦争の歴史をふまえながら、被爆されたご家族のお話をして頂きます。被爆者補償と核兵器廃絶のために闘って来た原爆被爆者と被爆二世の体験と闘いを私たちも共有したいと思います。

敗戦から80年、日本は経済発展を遂げ経済大国となりました。冷戦後、世界が大きく変わる中で、日本は憲法の平和主義を捨て、軍事力の強化をはかり、戦争の出来る国へと転換しています。

戦争する国へと大転換している日本の軍事力強化に反対し、「核の傘」からの離脱と核兵器禁止条約の署名・批准を要求しましょう。

戦争反対・大軍拡反対、核廃絶へと進む闘いについて討論し、どのように運動を進めるか話したいと思います。



討論集会は多くの方々と一緒に準備したいと思います。
賛同団体・個人になって下さい。

団体 1000 円、個人 500 円(当日、資料代から差し引き)
連絡は以下をお願いします。

連絡先：非核・平和のひろば呼びかけ人 定森和枝

携帯：090 - 5662 - 2351

メール：sdmrk@jcom.zaq.ne.jp